

## ジブチ月例報告 (2025年4月)

在ジブチ日本国大使館

### 【内政】

● 4月1日、ゲレ大統領はオマール (M. Abdoukader Houssein Omar) 外務・国際協力大臣を新しく任命した。

### 【外政】

● 4月2日、ゲレ大統領はハッサン・ソマリア大統領率いる代表団の訪問を受けた。同代表団との間でソマリアの領土一体性維持のための取組の進展、地域情勢、経済復興等について議論が行われた。

● 4月9日～12日、ジブチを訪問したアブラムチェンコ・露連邦下院副議長は、ゲレ大統領、ディレイタ議長その他政府要人と会談を実施した。経済・貿易、物流、港湾インフラ、高等教育・職業訓練の分野における新たなパートナーシップの発展について議論が行われ、ロシアの民間事業者によるジブチへの投資奨励に対するコミットメントがロシア側から示された。

● 4月9日、オマール外務・国際協力大臣は、ヤコブ内務安全保障省政務官率いるケニア代表団を迎えた。兵器拡散と使用拡大に関するジブチの抑制的役割について議論が行われた。

● 4月13日、アブディ・ソマリア上院議長率いる代表団がジブチを訪問し、ゲレ大統領と会談を行った。この会談ではディレイタ国民議会議長も参加し、両国間の協力プロジェクトの進捗状況について議論がされた。同代表団は平和記念館建設が予定されているアルタ市の視察も行った。

● 4月15日、第6回閣議が開催され、仏ジブチ新防衛協力協定の批准が承認された。

● 4月15日、エナンフ (Mme Anne Le Henanff) 仏国防委員会調査委員率いる仏議員代表団がジブチを訪問し、サフィア・ジブチ国民議会議長代行と新しい仏ジブチ防衛協力協定等について議論した。同仏代表団には仏・ジブチ友好議連会長であるファヴェネック・ベコ (M. Yannick Favennec-Becot) 仏国防委員会委員、等が含まれる。

● 4月23日、エジプトのエル・シーシ大統領がジブチを訪問し、ゲレ大統領と会談を行った。防衛・安全保障、経済、エネルギー、運輸、教育、スポーツ等に係る共同声明が発表された。

● 4月25日、アブドゥルカデル首相は、4月23日から25日までウガンダのエンテベで開催された平和と地域安全のための臨時首脳会議にジブチ代表として出席した。ソマリアにおけるアフリカ連合ミッション (ATMIS) から新たな

アフリカ連合ソマリア支援ミッション（AUSSOM）への移行が議論され、ジブチはソマリアの平和と制度再建に貢献するという揺るぎない決意を表明した。

●4月27日、イラクのアブドゥル（M. Abdul Amir Al-Shammari）内務大臣はジブチを訪問した。安全保障と越境犯罪対策における戦略的パートナーシップの一環として、両国の内務省間の協力強化の基盤を築くという強い意志を表明した。また5月17日にバグダッドで開催される第34回アラブ首脳会議への参加を招く公式招待状がゲレ大統領に手渡された。

●4月29日、オマール外務大臣は、クウェートを公式訪問し、サバーハ首相代理兼内務大臣と会談した。会談では、両国の友好関係とパートナーシップを強化し、開発、地域安全保障、相互投資、人材育成など、二国間協力の強化方法について議論した

#### 【経済・開発】

●4月1日、企業及び公共機関のガバナンスに関する啓蒙ワークショップが国家ポートフォリオ担当執行事務所（SEPE）によりフランス開発庁（AFD）の支援を得て開催された。同ワークショップには、イリヤス経済・財務大臣兼工業担当大臣等が出席した。

●4月6日から8日にかけて投資促進を目的としたジブチ・フォーラムが開催された。50カ国から集まった政府系ファンドの責任者、開発銀行家、機関投資家、起業家等の約400人が、ジブチ・ソブリン・ファンドの招待を受けて集結した。

●4月7日、ヨニス・エネルギー大臣（天然資源担当）は、ジブチの再生可能エネルギーの開発を目的として、国際企業インフィニタム・エナジーのCEOであるネグル（Lindsay Nagle）氏と廃棄物のエネルギー化について、露国営企業ロスアトムのアプテカレフ（Vladimir Aptekarev）氏と原子力発電について、そしてカナダ企業4th Resourceの代表団と地熱開発について、それぞれ会談を行った。

●4月21日及び22日、ジブチにおいてアフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）の推進のためのハイレベル地域会議が開催された。ジブチ経済特区を戦略ハブとして位置づけ、AfCFTAを推進し、アフリカ内貿易の戦略的プラットフォームとする目的を再確認した。ワムケレAfCFTA事務局長はゲレ大統領と会談を実施した。

●4月24日、イリヤス経済・財政大臣はアフリカの角イニシアチブ第24回閣僚会議に出席した。会議には、エチオピア、ケニア、ソマリア、南スーダン、スーダンの財務大臣が出席した。議論は、特に地域貿易の円滑化に焦点を当て、9つの優先事項を中心とした短期・中期行動計画が採択された。また、前回のセツ

ションで採択された地域貿易円滑化ロードマップを3年間延長することに合意した。

●4月27日、大統領令により、「成果不十分」を理由にジブチ・ソブリン・ファンド（FSD）の解体が発表された。2020年3月に設立されたFSDの目的は、エネルギー、インフラ、医療、デジタル、観光、教育などの主要部門への共同投資を通じて、国民経済の多様化を支援することであったが、設立から5年経過し、その成果が期待に届かなかったと説明されている。

●4月28日、ヨニス・エネルギー大臣はアッサル湖の塩を採掘する中国企業の招待を受け、中国を公式訪問した。鉱業部門を国の発展の重要な原動力とし、地元コミュニティに利益をもたらす富と雇用を創出することを目的とした、経済の多角化と天然資源の最適な活用という政府戦略の一環とされる。

#### 【保健・衛生・社会】

●4月6日、ベルリンにおける第3回世界障害者サミットの機会に実施された会談において、ジブチとアルジェリアの保健大臣は、保健分野における二国間協力を強化すると表明した。

●4月8日、ゲレ大統領はカドラ夫人と共に、ジブチ女性国民連合（UNFD）本部で開催された国際女性デーの祝賀式典に出席した。

●4月14日、ゲレ大統領は第2回ジブチ国際気候変動、研究、レジリエンス会議（2CR2）の開幕式を行った。ゲレ大統領は、演説の中で、国際社会が効果的な協力と相互援助の原則を支持する必要性を特に強調した。

#### 【軍事・治安】

●3月25日から4月2日にかけて、仏空母打撃群がジブチに寄港した。

●4月3日、サイド内務大臣はジブチに滞在する不法移民に対し、1か月以内の自主的出国を要請する声明を発出した。

●4月16日、第12ヒル・ワラル大隊がソマリア・ジャララクシー作戦地域に向けて出発した。この大隊は数百人の男女で構成され、アル・シャバーブに対する治安維持任務のため、24ヶ月の任務に就く。

#### 【日本関係】

●4月3日、原大使は明珍船主協会会長が率いる同協会代表团と意見交換を行った。今回10回目となる同協会のジブチ訪問では、海賊対処行動に従事する自衛隊の活動を視察するとともに、ジブチ当局によるこれら活動に対する継続的な支援と海洋安全保障へのコミットメントに対し謝意が表明された。

- 4月10日、原大使は日本がジブチ沿岸警備隊に供与した2隻の新型35m級巡視船の就役式典に参加した。同式典にはゲレ大統領はじめ多くの政府高官・外交団が参加した。
- 4月15日、原大使は同月15日から16日にかけてオボック州に出張し、オボック州サダイ地域地下貯水槽建設プロジェクトの竣工式に参加した。このプロジェクトは近くに水源が無いブラハガディ、クフレ両集落の女性と子どもの毎日の家事負担を和らげることを目的としたもの。
- 4月15日、原大使はコールアンガールにおけるジブチ沿岸警備隊の捜索救助前進拠点の竣工式に参加した。このプロジェクトは、海上安全保障、移民に対する人道支援に関する沿岸警備隊の作戦能力を強化することを目的としており、日本が資金援助し、国際移住機関(IOM)が実施したもの。
- 4月24日、原大使はオマール外務・国際協力大臣と面談し、良好な二国間関係について概観し、関係をさらに高いレベルに引き上げたいという意思を確認した。
- 4月27日、原大使は外務・国際協力省外交研究所のモハメド所長及びJICA井上事務所長らとともに、JICA海外協力隊員が同研究所で教えている日本語講座を見学した。

(了)